

SKYMENU 活用授業 実践レポート

名前	湯浅 誠	学校名	習志野市立大久保小学校
実施学年	小学校5・6年	教科	委員会活動(栽培委員会)
単元名	植物クイズをつくる		

《学びを深めたいポイント》

- ・導入では、教師の用意した作例を提示すること
- ・展開では、各自が自由に作成しつつ、提出済みのものが他の児童にも見える設定にしておくことで、参考にしてよりよい作品作りにつながる。
- ・まとめでは、全校に見てもらう場を用意することで、さらに意欲を高めることができる。

《SKYMENU 活用のポイント》

- ・導入では、教師の用意した作例を見ることで、どういうものを作ればよいのかイメージが持てる。
- ・展開では、より見やすくするために、文字の大きさ、色、文字数などや、見やすさにも気を配ってよりよいものにしていくことができる。写真を入れることなども推奨する。
- ・まとめでは、全校に見てもらう場を用意することで、さらに意欲を高めることができる。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導 入	・植物についてのクイズ作りについて考える。	・「発表ノート」を使ってまとめていくことを知る。	・基本的な使用方法について、教員の見本を閉め見てイメージをもたせる。
展 開	・一人ずつ、図書室の図鑑やネット検索を元に、クイズを作り、スライドにまとめていく。	<p>・調べた内容を、「発表ノート」にまとめていく。</p> 	<p>・できたものを随時共有することにより、よりよい方法を互いに真似して、見やすいスライドにしていけることができた。</p> <p>・紙に書いたものも、写真として取り込み、「発表ノート」の1枚として取り込んだ。</p>
ま と め	・学校のインフォメーションボードに全員のスライドを提示し、全校児童に見てもらおう。	・提出箱から、「発表ノート」をPDF形式で出力したものから、ボードで提示できる画像や動画形式にしたものを利用する。	<p>・常時活動は水やり当番など、目に触れないことが多いが、全校に見てもらえるものを作ることで、活動意欲も高まった。</p> <p>・印刷し、掲示する方法もある。</p>

《実践を振り返って》

<p>・今回の実践の振り返り</p> <p>45分の活動時間で、各自が調べ、問題を作り、「発表ノート」に落とし込むことまではできた。そこから、PDF化、印刷する作業や、インフォメーションボードで表示できるように動画形式に落とし込むには、教員の手が必要となる。</p> <p>・今後のSKYMENUの効果的な利活用について</p> <p>スライドを活用してクイズ形式で発表するのは、子供たちが意欲的に取り組むことができる。写真などを入れるのも簡単なので、操作に慣れることと、提出されたものを相互に見合うことができる仕組みで、創意工夫が広がりやすいと考える。</p> <p>・今後の目標</p> <p>学習の成果をまとめておける場所として、活用の場面を増やしたい。</p>
--